

## 社会工学類 都市計画主専攻における 建築士受験資格取得のためのカリキュラムについて

建築士法の定める一級建築士、二級建築士および木造建築士の資格を取得するためには建築士試験を受験する必要があります。受験資格として表1・2のような学歴や実務経験が定められています。

社会工学類都市計画主専攻においては、他の4年制大学の建築学科と同等の課程を修めたものとして、建築士受験資格取得のためのカリキュラムを設けています。受験資格取得のためには、社会工学類長が指定した建築関連の科目を履修し、その単位を取得することが必要です。受験資格取得を希望する学生は、表3・4に掲げるカリキュラムにしたがって履修計画を立てるようにしてください。

表1：建築士受験資格試験制度

一級建築士試験			二級建築士・木造建築士試験		
学歴又は資格	課程	建築の実務経験年数	学歴等	課程	建築の実務経験年数
最終卒業学校・資格			最終卒業学校等		
<b>大学</b> [旧制大学を含む]	<b>建築・土木</b>	<b>2年以上</b>	<b>大学</b> [旧制大学・短期大学を含む]又は高等専門学校[旧制専門学校を含む]	<b>建築</b>	<b>なくてもよい</b>
3年制短期大学 [夜間部を除く]	建築・土木	3年以上		土木	1年以上
2年制短期大学	建築・土木	4年以上	高等学校[旧制中学校を含む]	建築	3年以上
高等専門学校 [旧制専門学校を含む]	建築・土木	4年以上		土木	3年以上
二級建築士		4年以上	建築に関する学歴なし		7年以上
その他、国土交通大臣が特に認める者 [昭和56年建設省告示第990号※ほか] ※『建築設備士として建築に関して 4年以上の実務の経験を有する者』が追加されました。			その他、都道府県知事が特に認める者 [「知事が定める建築士法第15条第3号に 該当する者の基準」に適合する者]		

表2：指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数（4年制大学の場合）

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位	7単位	7単位	7単位
④建築設備	2単位	2単位	2単位	7単位	7単位	7単位
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位	6単位	6単位	6単位
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位	6単位	6単位	6単位
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位	6単位	6単位	6単位
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位	1単位	1単位	1単位
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他(b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a)+(b)	60単位	50単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年

60単位を目標に  
してください

最低限これくらいは  
目指してください

表3：建築士指定科目一覧（H27年度入学者）（社会工学類都市計画主専攻）

	授業科目名	履修学年	単位		授業科目名	履修学年	単位
①	設計演習I	2	2	⑧	建築経済	2~4	1
①	基本製図	2	1	⑧	建築生産	2~4	1
①	設計演習II	3~4	2	⑨	建築関連法規	2~4	1
①	住環境計画実習	3~4	2	⑩	都市計画原論	1 2	2
②	都市計画の歴史	1 2	2	⑩	都市 地域 環境を探索I(総合科目2)	1 2	1
②	都市空間の計画とデザイン	2~4	2	⑩	都市 地域 環境を探索I(総合科目2)	1 2	1
②	住まいと居住環境の計画	2~4	2	⑩	都市 地域 環境を探索II(総合科目3)	3 4	1
②	現代まちづくりの理論と実践	2~4	2	⑩	社会工学特設講義(つくばの景観を考えよう)	1 2	1
②	土地利用 地区整備計画	2~4	2	⑩	都市計画情報実習	2	2
				⑩	都市防災計画	2~4	2

表4：建築士指定科目一覧（H27年度入学者）（工学システム学類・芸術専門学群開設）

	授業科目名	履修学年	単位		授業科目名	履修学年	単位
③	建築環境工学 工学システム学類開設)	2~4	2	②	近 現代建築論 芸術専門学群開設)	2	2
④	建築設備 工学システム学類開設)	3~4	2	②	建築史 芸術専門学群開設)	2	2
⑤	構造力学I 工学システム学類開設)	2	2	②	建築計画論A 芸術専門学群開設)	3	1
⑤	材料力学I 工学システム学類開設)	2	2	②	建築計画論B 芸術専門学群開設)	3	1
⑤	材料力学II 工学システム学類開設)	2	2	②	建築設計論 芸術専門学群開設)	3	2
⑤	振動工学I 工学システム学類開設)	2	2	②	住宅地計画論 芸術専門学群開設)	3	2
⑤	構造力学II 工学システム学類開設)	3	2	②	都市デザイン論 芸術専門学群開設)	3	2
⑤	振動工学II 工学システム学類開設)	3	2	③	建築環境計画論 芸術専門学群開設)	3	2
⑤	土質力学 工学システム学類開設)	3	2	④	建築設備計画論 芸術専門学群開設)	3	2
⑤	地盤工学 工学システム学類開設)	3	2	⑤	構造力学及び構造計画 芸術専門学群開設)	1 2	4
⑥	鉄筋コンクリート構造学(工学システム学類開設)	3	2	⑥	建築構法論(芸術専門学群開設)	3	2
⑥	防災工学 工学システム学類開設)	3	1.5	⑥	建築構法論演習(芸術専門学群開設)	3	1
⑥	鋼構造学 工学システム学類開設)	3	2	⑦	建築材料論(芸術専門学群開設)	1 2	2
⑥	建築制振技術特別講義(工学システム学類開設)	3~4	1	⑩	建築デザイン概論 芸術専門学群開設)	1	1
⑥	建築構造計画特別講義(工学システム学類開設)	3~4	1	⑩	環境デザイン概論 芸術専門学群開設)	1	1
⑦	コンクリート工学(工学システム学類開設)	2	2	⑩	デザイン史概説B 芸術専門学群開設)	1	1
⑦	材料学II(工学システム学類開設)	2	1	⑩	世界遺産学入門 芸術専門学群開設)	2	1
⑦	材料学I 工学システム学類開設)	2	2	⑩	地域遺産論 芸術専門学群開設)	2 3 4	1
⑦	複合材料学 工学システム学類開設)	3	2	⑩	ランドスケープデザイン論 芸術専門学群開設)	3	2
⑩	工学者のための倫理 工学システム学類開設)	4	1				

注)①~⑩の番号は、指定科目番号に対応

履修学年は標準履修年次

なお資格取得に関わる履修方法については、履修要覧にも掲載されていますので、そちらも確認してください。

建築士受験資格問い合わせ先：山本幸子 (sachiko@sk.tsukuba.ac.jp)